

施策2

社会性と豊かな心を育む教育の推進

Ⅰ 心の教育の充実（教育研究所）（教育相談室）

● 事業内容

担当課：教育研究所
R5 予算額：－
R6 予算額：－

（１）「考え、議論する道徳」の実施

児童生徒が日常生活で直面する様々な事象を自分自身の問題ととらえ、仲間と語り合いながら多面的・多角的に考えることで、自分の生き方を見つめ直す道徳の授業を実施します。

令和5年度取組・実績
＜実施内容＞ ・道徳教育計画訪問において、道徳の時間の充実のための交流を実施しました。 陶都中学校区（共栄小、精華小、陶都中）、小泉中学校区（小泉小、小泉中） 南姫中学校区（南姫小、根本小、南姫中） ・道徳教育計画訪問において、「考え、議論する道徳」の充実について指導・助言を行いました。 ＜主要な事業費（R5 年度決算額）＞ なし
成果・効果
・中学校区で、児童生徒や地域の実態を踏まえた道徳教育について共通理解できました。
令和6年度取組予定
・令和6年度道徳教育計画訪問実施予定 多治見中学校区（滝呂小、養正小、多治見中）、笠原中学校区（笠原小、笠原中） 南ヶ丘中学校区（脇之島小、市之倉小、南ヶ丘中）

（２）子どもの権利を含む人権教育研修の実施

多岐にわたる人権問題からテーマを設定して人権教育講演会を開催します。
また、子ども達が正しい人権感覚を養う指導ができるように教員の研修を充実させます。

担当課：教育研究所
R5 予算額：－
R6 予算額：－

令和5年度取組・実績
＜実施内容＞ ・「子どもの権利セミナー」を8月に実施しました。（教職員21名参加 共催：くらし人権課） ・「人権同和教育講演会」を8月に実施しました。（教職員105名参加 共催：くらし人権課） ・「人権教育主任研修会」を実施し、「多治見子ども権利の日」について啓発をしました。 ＜主要な事業費（R5 年度決算額）＞ なし
成果・効果
・子どもの権利や、人権同和教育問題について理解を深めることができました。
令和6年度取組予定
・「子どもの権利セミナー」、「人権同和教育講演会」、「人権教育主任研修会」を引き続き実施する予定です。

(3) いじめや差別偏見のない正しい人権感覚の育成

小学校5年生、6年生、中学校1年生の3学年を対象に、弁護士による「いじめ防止・自立と共生授業」を行います。いじめを許さない、起こさせない心情を持ち合わせる児童生徒の育成をより一層推進します。

担当課：教育相談室
R5 予算額：200 千円
R6 予算額：210 千円

令和5年度取組・実績
<実施内容> ・いじめは身近な人権侵害という観点から、いじめをさせない・しない心情を養い行動力を培うために、弁護士による「いじめ防止・自立と共生授業『いじめについて考えよう』」を実施しました。（実施校：北栄小・根本小・小泉小・精華小・共栄小・南ヶ丘中） <主要な事業費（R5年度決算額）> ・弁護士への謝礼 190 千円
成果・効果
・授業後のアンケートの結果、「人権についての理解」では、小学校では87%、中学校で95%の児童生徒が、「よく分かった」「分かった」と答えました。また、「いじめをなくすために自分がすべきことの理解」については、小学校では87%、中学校で90%の児童生徒が、「よく分かった」「分かった」と答えました。 ・弁護士が授業を行うことにより、子どもたち自身がいじめを許さない気持ちを一層強くもつことができました。
令和6年度取組予定
・「いじめ防止・自立と共生授業」を引き続き実施します。（R5は20時間→R6は21時間予定）

(4) 地域、幼稚園・保育園、学校間で連携した豊かな体験活動の推進

地域人財を活用した体験活動や、幼稚園・保育園と学校との交流活動等を行うことで、体験的に学びを深めたり、様々な人との関わり方を学んだりします。

担当課：教育研究所
R5 予算額：－
R6 予算額：－

令和5年度取組・実績
<実施内容> ・各園、学校の計画に合わせて実施しました。 （例） 北陵中学校に、明和幼稚園と旭ヶ丘保育園の園児を招待し、レクリエーションを行いました。 地域の方々に野菜作りの世話や年中行事の講師をお願いしました。 <主要な事業費（R5年度決算額）> なし
成果・効果
・体験活動を通して、地域の方や異年齢の子との関わり方を学ぶことができました。 ・お世話になった方々へ感謝の気持ちを示すことができました。
令和6年度取組予定
・地域や異年齢との交流を積極的に行います。

● 計画の成果目標

「みんなと違う意見も大事であると思うか」の質問に「とてもそう思う」「思う」と回答した割合 （「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「共生」の項目）		
基準値（令和４年度）	現状（令和５年度）	目標（令和９年度）
小学校 92.1% 中学校 91.0% （令和３年度結果）	小学校 94.2% 中学校 96.5%	小学校 95.0% 中学校 95.0%

「自分のよさを認めてくれる仲間がいると思うか」の質問に「とてもそう思う」「思う」と回答した割合 （「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「自己有用感」の項目）		
基準値（令和４年度）	現状（令和５年度）	目標（令和９年度）
小学校 86.6% 中学校 88.0% （令和３年度結果）	小学校 82.8% 中学校 91.0%	小学校 90.0% 中学校 90.0%

「自分にはよいところがあると思うか」の質問に「とてもそう思う」「思う」と回答した割合 （「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「自己肯定感」の項目）		
基準値（令和４年度）	現状（令和５年度）	目標（令和９年度）
小学校 83.5% 中学校 77.8% （令和３年度結果）	小学校 81.9% 中学校 82.7%	小学校 85.0% 中学校 80.0%

2 キャリア教育の推進（教育研究所）

● 事業内容

担当課：教育研究所
R5 予算額：480 千円
R6 予算額：330 千円

（１） 自己の良さや可能性を発揮する学級経営の充実

特別活動の学級活動を中心として、集団生活の中で自分の役割を果たしながら、自己の良さや可能性を発揮する機会を充実させます。

（２） 自身の成長を振り返る記録「キャリアパスポート※」の活用

「キャリアパスポート」を作成し、新たな学習や生活への意欲をもったり、生き方を考えたりする活動を充実します。

※キャリアパスポート・・・小学校入学から高等学校卒業までの自身の変容や成長を自己評価できるよう記録を綴ったファイル

令和５年度取組・実績
<実施内容> ・多治見市教育委員会指定研究校として、市之倉小学校にて「学級経営」の研究発表会を開催しました。（東濃各市から約 150 名参加） ・全学校でキャリアパスポートを活用しました。 <主要な事業費（R5 年度決算額）> ・教育長指定研修事業関係費（小学校） 101 千円
成果・効果
・市之倉小学校の研究発表により、互いに認め合いよりよい生活を目指して活動する児童の育成について学び合うことができました。
令和６年度取組予定
・自他を認め合う学級経営の充実について啓発します。 ・キャリアパスポートの活用を継続します。

（３） 企業や各種団体と連携した職業講話、職場体験の実施

発達段階に応じた望ましい勤労観や職業観を養うために、様々な分野で活躍する人や地域で仕事をしている方々との交流や、職場での体験学習などを実施します。

担当課：教育研究所
R5 予算額： 525 千円
R6 予算額：2,565 千円

令和５年度取組・実績
<実施内容> ・各学校の計画に基づき、キャリア教育を実施しました。 ・市内企業等に、職場体験の受け入れや職業講話の実施について協力を依頼しました。 ・全小中学校で、オンラインキャリア教育を実施しました。 <主要な事業費（R5 年度決算額）> ・キャリア教育実施事業費 2,495 千円
成果・効果
・昨年度まで中止や縮小をしていた職場体験や職業講話を、地元の企業等に依頼し各中学校で実施できました。 ・オンラインキャリア教育で、海外や普段出会うことができない様々な職業の方から、仕事内容や働く意義などについて学ぶことができました。
令和６年度取組予定
・職場体験や職業講話を継続して実施します。 ・オンラインキャリア教育を継続して実施します。

● 計画の成果目標

「将来の夢や目標は持っていますか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合（「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「自立」の項目）		
基準値（令和４年度）	現状（令和５年度）	目標（令和９年度）
小学校 81.5% 中学校 63.1% （「全国学力・学習状況調査」の質問紙）	小学校 83.5% 中学校 68.8%	小学校 90.0% 中学校 75.0%

「難しいことでもやってみようと思うか」の質問に「とてもそう思う」「思う」と回答した割合（「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「挑戦」の項目）		
基準値（令和４年度）	現状（令和５年度）	目標（令和９年度）
小学校 86.3% 中学校 76.9%	小学校 89.1% 中学校 80.7%	小学校 90.0% 中学校 80.0%

3 読書活動の充実 (教育研究所)(子ども支援課)

● 事業内容

(1) 読書を楽しむ読書から学ぶ機会の充実(読み聞かせ・ビブリオバトル※・電子書籍等)

担当課：教育研究所
R5 予算額：491 千円
R6 予算額：359 千円

成長の過程に応じた本との出会いの場を設け、本を読むことが好きな子どもを育成することで、自ら読書する習慣を身につけていきます。幼児期は、幼稚園・保育園だけでなく、家庭で親と子が読書を通じてふれあうよう促します。学童期は、他者とのコミュニケーションの中で読書の良さを体験できるような機会を提供します。

※ビブリオバトル・・・お薦めしたい本の魅力を語る書評合戦

(2) 学校図書館機能の充実

自由な読書や読書指導の場となる「読書センター機能」、児童生徒の学習内容を深めたり広めたりする「学習センター機能」、情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター機能」が充実するよう、図書主任研修会や司書交流会を行います。

(3) 子どもの読書活動の評価改善を図る「子どもの読書活動推進委員会」の開催

「多治見市子どもの読書活動推進計画」に基づき、取組状況の交流や進捗状況を評価する「子どもの読書活動推進委員会」を開催します。

令和5年度取組・実績
<実施内容> ・発達段階に応じた良書を読む機会を作るために、「うながっぱブックカード」を配付しました。 ・電子書籍「School e-library」を読書活動で活用しました。(小学校2年生～中学校3年生) ・年間目標冊数を達成した児童生徒に多読賞を渡しました。 ・東濃地区教育推進協議会主催の図書館教育賞で、昭和小学校が優秀賞を受賞しました。 ・新聞を活用した学習「NIE」を行いました。(精華小、根本小など) ・「第3次多治見市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。 <主要な事業費(R5年度決算額)> ・読書推進事業費 382 千円
成果・効果
・昨年度まで中止や縮小していた図書館利用や読み聞かせの会など、読書に親しむ機会を充実させました。 ・おススメの本の紹介や読んだ感想交流など、読書を通して他者と関わる場を充実させました。
令和6年度取組予定
・「第3次多治見市子どもの読書活動推進計画」を周知し、取組を実施します。

● 計画の成果目標

「本を読むことが好きか」の質問で「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した割合 （「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「読書」の項目）		
基準値（令和４年度）	現状（令和５年度）	目標（令和９年度）
小学校 79.3% 中学校 66.8% （令和３年度結果）	小学校 83.2% 中学校 65.7%	小学校 85.0% 中学校 70.0%

年間読書冊数 （多治見市子どもの読書活動推進計画の調査結果）		
基準値（令和４年度）	現状（令和５年度）	目標（令和９年度）
小学校(低) 120冊約 86.3% 小学校(中) 80冊約 75.9% 小学校(高) 60冊約 73.4% 中学校 30冊約 19.7% （令和３年度結果）	小学校(低) 120冊約 72.5% 小学校(中) 80冊約 67.2% 小学校(高) 60冊約 64.4% 中学校 20冊約 32.6%	小学校(低) 120冊 90.0% 小学校(中) 80冊 80.0% 小学校(高) 60冊 75.0% 中学校 15冊 50.0%

4 郷土愛を醸成する教育の推進 (教育研究所) (文化財保護センター)

● 事業内容

担当課：教育研究所
R5 予算額：1,000 千円
R6 予算額：1,093 千円

(1) 土曜学習講座「わがまち 多治見大好き講座」の実施

郷土の豊かな歴史や文化を体感できる土曜学習講座を企画し、多治見への愛着を醸成します。また、中学生ボランティアが主体的に活動できる機会を提供します。

令和5年度取組・実績

<実施内容>

- 5月「多治見の歴史探偵になろう！下街道なぞ解きツアー」(62人)
- 6月「多治見の現代陶芸家になろう」(79人)
- 7月「美濃焼名人になろう」(45人)
- 8月「チャレンジスポーツ in 多治見 前期」(56人)
- 9月「科学に挑戦！～多治見の理科の先生、大集合～」(57人)
- 10月「多治見の歴史探偵になろう2～虎渓山永保寺～」(41人)
- 11月「チャレンジスポーツ in 多治見 後期」(26人)
- 11月「技能五輪見学ツアー」※企業誘致課とのスピノフ企画(41人)
- 12月「職業体験 将来マナビジョン！！」※共催：多治見ロータリークラブ(283人)
- 1月「タイル博士になろう」(39人)
- 2月「多治見の上絵付師になろう」(75人)



<主要な事業費(R5年度決算額)>

- ・土曜学習講座実施事業費 984 千円

成果・効果

- ・多治見市の伝統、文化、産業等について学ぶことができる貴重な機会であり、参加者や保護者からも好評を得ています。
- ・「勇気を出して講座に参加して楽しかった、よかった」との回答 99.8%。
- ・「多治見はよいところだと思う」との回答 100%
- ・「多治見がもっとよくなるとよいと思う」との回答 99.2%
- ・中学生ボランティアも会の運営に携わるなど積極的に仕事をすることができました。
- ・学校区・学年・兄弟の枠にとらわれず、活動グループを組み、活動しながらつながりをもたせることにより多治見への愛着をもち、多治見の将来を自分事ととらえることができています。
- ・今年度のスピノフ企画では、企業誘致課との連携を実施、好評を得ました。

令和6年度取組予定

- ・年間11回程度を企画しています。
- 5月「多治見の歴史探偵になろう①下街道なぞときツアー」、6月「美濃焼名人になろう」
- 7月「多治見の現代陶芸家になろう」、8月「チャレンジスポーツ in 多治見」
- 9月「多治見の陶磁器物語見学ツアー」※多治見ロータリークラブ・スピノフ企画
- 10月「多治見の歴史探偵になろう②700年前にタイムトラベル～虎渓山永保寺～」
- 10月「小木棒の手ざんまい」※文化財保護センター・スピノフ企画
- 11月「多治見の歴史探偵になろう③100年前にタイムトラベル～修道院オリベストリート」
- 12月「タイル博士になろう」、1月「しごと塾」、2月「決定！多治見の歴史探偵！」
- ・文化財保護センターや多治見ロータリークラブと連携したスピノフ企画などの要望があります。また、学びパークとの連携により、多治見の歴史をより深掘りしながら「多治見の歴史探偵になろう」を4回シリーズで実施する計画が進行しており、内容の幅が広がっています。

(2) 地域の文化財を活用した学びの機会の充実

担当課：文化財保護センター
R5 予算額：3,308 千円
R6 予算額：159 千円

地域の文化財を学校で展示し、実物を見たり体験したりすることや、地域の歴史をテーマとした講師による授業を開催することで、多治見の歴史や伝統文化の学びにつなげます。

令和5年度取組・実績
<実施内容> ・民具等展示設置（養正小学校）をしました。 ・喜多町西遺跡公園での大昔のくらしの解説および火おこし等体験（小泉小・5月）をしました。 ・市有形文化財 多度神社の見学会（昭和小・11月）をしました。 ・多治見の歴史や文化財についての出張授業（南ヶ丘中・12月）（小泉小・1月）をしました。 ・民具等展示室（R4年度設置）を活用した昔のくらし授業の実施（脇之島小・1月）をしました。 <主要な事業費（R5年度決算額）> ・備品購入費 1,972 千円
成果・効果
・地域の歴史や文化財を、本物の資料や出土遺物を目の当たりにしながら体験を通して学ぶことで、歴史・文化への理解がより深まるという意見をいただいています。 ・昔のくらし授業では、70代～80代の方に昔の道具の使い方や、どんな暮らしだったかを直接教えてもらう機会をもち、当時の暮らしの生の声を聞くことができたことにより、地域の歴史・文化により興味を持ってもらうことができました。
令和6年度取組予定
・昭和小学校で、民具等の常設展示を行います。 ・喜多町西遺跡公園での大昔の暮らし授業（随時）を行います。 ・「昔のくらし体験セット」を活用した貸出、出張授業（随時）を行います。 ・ロイロノートでの文化財ワークシートの配信を行います。

(3) 地域について学ぶ社会科副読本の改訂及び活用

小学校社会科副読本「わたしたちの多治見市」は、多治見市や地域の産業・文化・歴史について学ぶ教材で、中学年を中心に活用します。毎年の小改訂と、4年毎に大改訂を行います。

担当課：教育研究所
R5 予算額：2,367 千円
R6 予算額：1,730 千円

令和5年度取組・実績
<実施内容> ・現行の学習指導要領、次期使用教科書に合うように4年に1回の大改訂を行いました。 （主な改訂内容：「農家の仕事」の項を追加、写真、資料、年表等を更新） <主要な事業費（R5年度決算額）> ・社会科副読本発行関係費 1,412 千円
成果・効果
・多治見市や地域の産業、文化、歴史について掲載内容を更新し、副読本の内容を充実することができました。
令和6年度取組予定
・改訂内容について周知し、授業での活用を推進します。 ・デジタル版の作成、活用について検討します。

(4) 将来のリーダー育成をめざす連合生徒会の開催

各中学校の生徒会役員が学校の代表として集まる連合生徒会を開催し、地域のリーダーとして育成します。参加者は、学校の代表として意見を表明し、他の学校の意見から学び、学校間の絆を深めます。

担当課：教育研究所
R5 予算額：277 千円
R6 予算額：485 千円

令和5年度取組・実績
<実施内容> ・第34回連合生徒会交流会（令和5年8月3日 議長校 陶都中学校） 「令和版多治見市中学校宣言」に基づく各校の取組みを交流しました。 ・第35回連合生徒会交流会（令和6年1月5日 議長校 多治見中学校） 「令和版多治見市中学校宣言」に基づく各校の取組みを交流しました。 市長との意見交換会を行いました。 <主要な事業費（R5年度決算額）> ・連合生徒会会議関連費用 84 千円
成果・効果
・他校の生徒とも積極的に関わりながら話し合いをすることができました。 ・議長校のリーダーシップのもと、円滑に会を進行することができました。 ・「よりよい多治見市を実現するための提言」を連合生徒会で考え、市長との意見交換会において発表し、将来のリーダー育成につながる会となりました。
令和6年度取組予定
・年2回の開催を継続します。 ・将来を担う多治見市のリーダー育成に資する連合生徒会を引き続き開催します。

● 計画の成果目標

土曜学習講座参加者		
基準値（令和4年度）	現状（令和5年度）	目標（令和9年度）
年間累計 548 人	804 人 (うち中学生ボランティア 96 人)	年間累計 700 人

「多治見市に愛着がありますか」の質問に「ある」「どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合 （「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「郷土愛」の項目）		
基準値（令和4年度）	現状（令和5年度）	目標（令和9年度）
—	小学校 91.6% 中学校 72.8%	50.0%

